

第1回草津市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

日 時 令和元年7月30日(火) 10:00～12:00

場 所 草津市役所4階 行政委員会室

出席者(委員) 飯田委員、伊庭委員、麻植委員、北村委員(欠席)、酒井委員、佐山委員(欠席)
清水委員、壽崎委員、塚口委員、辻野委員、中谷委員、中村委員、本間委員、
宮下委員、宮本委員(50音順)
(事務局) 都市計画部：辻川部長、東理事(兼 建設部技監)、松尾総括副部長
都市計画課：一浦課長、青木係長、高橋主査、山本主任、岸本主事
昭和(株)：虎見、古賀、森山、高井

1 開会

辻川部長	<p>日頃は、本市行政に格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>そして、この度は、草津市都市計画マスタープラン策定委員会の委員として御就任いただき、また、本日は御多用のところ、第1回目の策定委員会に御出席いただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>本来ですと、橋川市長から、直接皆様に御挨拶申し上げる次第ではございますが、他の公務のため、後ほど改めて御挨拶申し上げますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>さて、本市では、平成17年度に策定しました草津市都市計画マスタープランに基づきまして、これまでに豊かな生活を実感できる都市基盤整備や、草津らしさを出した都市づくりを推進してまいりました。</p> <p>この現行の都市計画マスタープランが令和2年に目標年次を迎えますことから、今年度から来年度までの2カ年をかけまして、次期都市計画マスタープランを策定してまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>委員の皆様には、策定にあたりまして、多様な視点からの御意見を賜りますようよろしくお願いをいたします。</p> <p>また、今後におきましては、2カ年と長期にわたっての委員会への御出席など、御負担をおかけすることになり、たいへん恐縮に存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>簡単ではございますが、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。</p>
------	--

2 委員紹介

3 委員長および副委員長の選任について

資料1 草津市附属機関運営規則(抜粋)	
事務局	<p>委員長および副委員長の選任を行いたいと思います。</p> <p>「草津市附属機関運営規則」第4条第1項、同条第3項では、委員長および副委員長は、委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。</p>
委員	事務局に一任。
事務局	<p>事務局一任の声がございましたので、委員長には、本市都市計画審議会の会長として、長年、本市都市計画に携わっていただいている塚口博司委員に、副委員長には本市都市計画審議会の委員として、長年、本市都市計画に携わっていただいている宮本雅子委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
事務局	ありがとうございます。

	それでは、塚口委員長と宮本副委員長には、委員長席と副委員長席にそれぞれご移動をお願いします。
	《委員長・副委員長あいさつ》
事務局	次に、「草津市附属機関運営規則」第4条第6項に基づき、委員長および副委員長がともに欠けた際の職務代理者について、塚口委員長から指名をお願いします。
塚口委員長	職務代理者につきましては、壽崎委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

4 諮問について

資料2 草津市都市計画マスタープランの策定について（諮問）	
橋川市長	<p>第1回目の都市計画マスタープラン策定委員会の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本委員会委員に御就任いただき、また、御多用の中、御出席を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、本市におきましては、平成17年度に策定しました草津市都市計画マスタープランに基づき、「ゆとりと活力のある生活実感都市 草津」を基本テーマに、豊かな生活を実感できる都市基盤整備や草津らしい都市づくりを推進してまいりました。</p> <p>この間、我が国の地方都市では急速な人口減少や高齢化に直面し、拡大した市街地において一定の人口密度で支えられてきた生活サービス等が低下するに伴い、人口減少局面においても持続可能な都市を構築するために、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりが全国的に進められております。</p> <p>本市においては、現時点では人口増加が続いておりますが、地域によってはすでに人口減少や高齢化が進んでいることから、この「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを理念とする草津市立地適正化計画、草津市版地域再生計画、草津市地域公共交通網形成計画を平成30年度に策定したところでございます。</p> <p>この度、草津市都市計画マスタープランが令和2年に目標年次を迎えるにあたり、この3つの計画の理念を反映させ、現在策定中の第6次草津市総合計画等の上位計画や関連計画との整合を図りながら、令和3年以降の都市計画の総合的な方針を定める、次期都市計画マスタープランを策定しようとするものでございます。</p> <p>次期草津市都市計画マスタープランの策定に向けまして、皆様のそれぞれのお立場からの貴重な御意見を賜るとともに、活発な御議論をお願いいたしまして、はなはだ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
橋川市長	《橋川市長より塚口委員長に諮問》
委員長	議事に入る前に、本委員会の公開、非公開の取り扱いについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	「草津市市民参加条例」第9条第1項に基づき、原則公開となっております。また、同項第2号に定める非公開とすることができる事項に、本日の議題は該当しません。
委員長	本日の議事につきまして、公開と考えますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
委員長	異議がないようですので、本日の会議は公開とします。

	傍聴人はおいでになりますでしょうか。
事務局	本日は傍聴人はおられません。

5 草津市都市計画マスタープラン策定委員会の運営にかかる事務処理要領（案）について

資料3 草津市都市計画マスタープラン策定委員会の運営にかかる事務処理要領（案）	
塚口 委員長	「草津市都市計画マスタープラン策定委員会の運営にかかる事務処理要領（案）」について、原案どおり決することに賛成の方の挙手を求めます。
委員	《全員賛成》
塚口 委員長	今後は（案）をとって進めるということで、よろしく願いいたします。

6 草津市都市計画マスタープランの策定方針等について

資料4 草津市都市計画マスタープランの検討について【補足説明資料】	
資料5 草津市都市計画マスタープラン策定方針	
資料6 草津市都市計画マスタープラン【現行計画と新計画の構成案】	
資料7 策定委員会での検討内容と検討の流れ	
資料8 草津市都市計画マスタープラン【施策評価シート（案）】	
資料9 草津市都市計画マスタープラン アンケート調査構成（案）	
委員	大津湖南都市計画区域マスタープラン、第6次草津市総合計画、本計画が同じ期間で策定予定となっていますが、どのように整合性を図ろうとされているのでしょうか。
事務局	今年度、県では、大津湖南都市計画区域において、区域区分の見直し作業を行っており、9月からは国と調整していくと聞いています。上位計画である大津湖南の都市計画と整合を図ることは大前提です。 総合計画は（市長のマニフェストとの整合を図り）、4年3期の12年計画になります。本計画では、地域別構想の策定に向け地域別市民会議を実施しますが、総合計画でも中学校区ごとに意見を聴取すると聞いており、本計画に関連する意見については反映しながら進めていきたいと考えています。 人口フレームについては、本市人口ビジョンにおいて2040年を目標年次に設定されていますが、総合計画においても人口フレームを精査すると聞いており、本計画における20年後の人口フレームと整合を図る必要があります。 人口減少が予想される中、市民の皆さんへの最適なサービス提供に向け、県の考え方や総合計画での検討内容を、本計画の策定委員会で説明させていただき、共有を図れるように進めて参りたいと思います。
委員	草津市においては、立地適正化計画と地域公共交通網形成計画に加え、草津市版地域再生計画の3計画を策定されていますが、3計画と本計画とはどのような関係になりますか。
事務局	立地適正化計画は、国から都市計画マスタープランの高度化版と説明されています。これからの人口減少の中でまちなかに公共・生活サービスを集約し、効率的な行政運営を図ることを目的に、市街化区域や駅前に居住誘導区域及び都市機能誘導区域を設定し、コンパクトなまちづくりを進めます。また、市街地周辺とは公共交通でネットワークを結び、駅前に来やすくする方策などを地域公共交通網形成計画で示していま

	<p>す。</p> <p>本市でも、周辺の農村部では人口が減少し高齢化が進んでいます。草津市版地域再生計画は、このような地域でも一定の生活サービスが提供される、持続可能なまちづくりを目指した計画で、具体のアクションプランを地域別に定めていきます。</p> <p>まちなかに公共・生活サービスは集約するけれど、人口が減少していく周辺地域にも地域のお力も借りながら持続可能なまちづくりを行う仕組みをつくり、公共交通で結んでいく「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を実現する3計画を、本計画において土地利用方針や分野別方針に位置づけることにより、市全体を総合的にコントロールする計画にしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>市民の皆さんの声を聞くことが一番大事であり、パブリックコメントや市民アンケート調査を効率的かつ効果的に使えるかが気になります。</p> <p>市民アンケートでは3千人18歳以上で無作為抽出ということですが、知的障害者や視覚障害者の方、外国の方への対応についても、ご一考いただきたいと思っています。</p> <p>また、設問の「家族構成」で、「単身・夫婦のみ・2世代・3世代」という選択肢がありますが、「親と子」「親と子・祖父母」などわかりやすい表現にするなど、文言の精査が必要かと思います。</p> <p>設問の「日常での動向」で、「中心市街地（駅前）」という選択肢がありますが、草津市には2つのJR駅があるので「草津駅周辺・南草津駅周辺」などと分ける必要はないのか。「市内その他」は、「その他県内」という選択肢もあるので、「その他市内」という表現がよいのではないかと思います。</p> <p>また、設問の「道路・交通」で、「バリアフリー・ユニバーサルデザインの促進」という選択肢があり、設問の「住宅・住環境」でも「建築物のバリアフリー化の促進」という選択肢がありますが、設問の「公園・緑地」や「都市防災」にもユニバーサルデザインについての選択肢が必要ではないかと思います。</p> <p>最後に、設問の「まちづくりへの参加意向」で、「参加したいが環境が整っていない」という選択肢があっても良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>まず、「中心市街地（駅前）」については、選択肢が細かすぎると回答者の負担になるためバランスが必要ですが、両駅周辺とも都市機能誘導区域ですので、分けた方が良くと思います。</p> <p>ユニバーサルデザインの問題についても配慮していく必要があると思っています。一方で、それぞれ個別の福祉計画等で位置付けがされているかと思っていますので、内容に応じて整理したいと思います。</p> <p>「まちづくりへの参加意向」については、「参加したいが環境が整っていない」理由はなぜなのかアンケートでどこまで言及するか難しいと思いますが、まちづくり協働課と相談して検討したいと思います。</p>
委員	<p>草津市の人口フレームでは、2040年まで増加し、そこをピークに徐々に減り、50年後にようやく現状と同じ13万7千人程度となると理解しています。</p> <p>草津市は元々コンパクトなまちで、2040年まで人口が増え、50年後でさえ現状程度になることから、あまり過度な「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の必要性があるか疑問です。</p> <p>また、交通渋滞がひどい箇所が多くあり、それらを解決していくことが必要ではない</p>

	かと思えます。
事務局	<p>草津市は非常にコンパクトなまちです。先程の人口ビジョンにおける人口フレームは2040年がピークとなっていますが、目標として出生率を高く設定しています。今年度、総合計画において人口フレームを精査していく必要があります。</p> <p>マンション開発などで、駅前などまちなかの利便性の高い所は人口が増えていますが、周辺部は空家が増え、人口減少、高齢化が課題となっています。</p> <p>市全体では人口が増えていますが、個別の地域をみると人口も減っているところもあり、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を進めるなかで対応していかなければならないと考えています。</p> <p>現行の都市計画マスタープランでの取組の評価や課題などの資料を提供しながら、委員の皆様と議論していただければと思っています。</p>
委員	草津市は元々コンパクトな都市とおっしゃいましたが、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」についてはどのようにお考えですか。
事務局	<p>30分程度で端から端に移動できるという意味では、非常にコンパクトなまちです。コンパクトシティの取り組みでは富山市が知られていますが、富山県の3分の1の人口が富山市に集中しているなど、地域性が本市と異なると思っています。</p> <p>草津市は大阪・京都からも近いことから、利便性が高く、職場も非常に近いという強みを活かすとともに、周辺地域から駅前に住み替えていただくことは難しいですが、バスに乗れば10分から20分で周辺地域から駅前にアクセスできて、駅前の公共施設や都市施設が利用できるまちです。公共交通や道路環境などのネットワークについても議論していただき、周辺の人口減少している地域も持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>また、駅前は利便性だけではなく、まちの品格・風格というか、緑も多く都市施設も充実するなど、どういうものを選択し、または集中していくのか、20年後のまちのビジョンを描いて整理していければと思っています。</p>

7 その他（意見交換）

委員	全ての基盤は安全・安心なまちだと思います。前回の都市計画マスタープランでは、防災・防犯、交通安全などの視点が少し弱かったのではないかと感じました。市全体のコンセプトから安全・安心を重要視することが望まれます。
委員	バリアフリー・ユニバーサルデザインなどの福祉や安全・安心は、どの分野にも関わる内容ですので、抜け落ちがないように整理していただきますようお願いします。
委員	福祉分野・高齢化の問題についてですが、マンションなどがある都市部については高齢化率が低く、公共交通などの移動手段も確保しやすい。しかし、高齢化率が高い周辺部は、公共交通がなければ移動しにくい状況です。このことを踏まえ、都市計画マスタープランでの取り組みを検討いただきたい。
委員	<p>草津市社会福祉協議会においては、「こころ温かく支えあい住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」を基本理念としています。</p> <p>草津市はしばらく人口増加が続きますが、高齢化は進行しています。草津市内でも高齢化の進行は学区によって異なっており、今後は、過去に短期間で大規模開発された地域を含む学区で、高齢化が急速に進むことも予測されます。また、周辺農村部ほど高齢化率が高く、市民意識調査の中で「意識的に外出を控えている人は約24%」とい</p>

	<p>う調査結果もあります。</p> <p>市としても公共交通の対策を実施していただかなければならないと思っています。また、出かけやすいまちづくりとして、バリアフリーやユニバーサルデザインについても取り組んでいく必要があると思っています。</p> <p>現行の総合計画や都市計画マスタープランでは、J R 草津駅ならびに南草津駅周辺地域をにぎわい拠点として、積極的な投資がされ、中心市街地活性化の取り組みが行われています。J R 南草津駅は駅が設置されて約 25 年が過ぎ、駅の利用者も大幅に増加し、今では滋賀県で一番の乗降客数となっており、その役割も大きく変わっていると考えています。</p> <p>南草津駅とその周辺について、20 年先を見据えて市民が愛着と誇りを持てるまちづくりを展開していただきたいと思います。また、駅前の交通混雑を防ぐ新たな交通手段を整備し、出かけたくなるまちのモデルにしていきたいと思います。</p> <p>令和 5 年度までに山手幹線が整備されるということですが、本市の道路体系も大きく変わるのではないかと思います。道路整備を活かした仕掛けづくりも検討しなければならないと思いますし、相乗効果を発揮するためにも、平野南笠線をどうするかも課題だと思っています。</p> <p>本計画においては、宿場町の息遣いを感じ、草津市に住み続けたいと感じる都市計画を議論していければと思います。</p>
委員	<p>草津市の農地面積は、平成 17 年～27 年の 10 年で、1,616.4ha から 1,480ha と急激に減少しています。私が住む地域では、平成 29 年度は 129 件の農地転用があり 14.7ha の農地が減少し、平成 30 年度は 108 件の農地転用があり 21.35ha の農地が減少しました。民間開発などによる農地の減少は、草津市が進めてきた特定区域や 50 戸連たん制度などによるところが大きいと思います。</p> <p>都市計画マスタープランにおいて市街化区域の農地をどのような活用していくのか、また、市街化調整区域の農地をどのように保全していくのかバランスの取れたまちづくりを進めていただきたい。</p> <p>また、担い手がおらず、ほ場整備が困難な農地については、ますます遊休農地が増えると予想されます。農振農用地については積極的な利用方策を検討していただきたいと思います。</p> <p>私が住む地域は人口減少が進んでおり、高齢化率も市内でトップクラスです。「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方があり、また、近年は中心市街地活性化のため、まちなかに集中投資をされていますが、一方で、人口が減少している周辺地域を対象とした草津市版地域再生計画に基づいて取り組んでいただいているのですが、まだまだ目にみえる形での効果が現れていません。</p> <p>都市計画マスタープランにおいては、人口が減少している周辺地域も持続可能な地域づくりのための位置づけをお願いします。</p>
委員	<p>草津市は面積的にはコンパクトですが、公共交通が十分整っているとは言い難く、高齢化に伴う移動手手段の確保は非常に大きな問題だと考えています。</p> <p>効率的で質の高い福祉サービスを提供するには、都市計画を含めて考えなければ難しいと考えています。</p> <p>20 年後の人口は現状に戻るということでしたが、高齢化はさらに進んでいることを</p>

	見据えて、検討していくことが必要だと思います。
委員	南草津駅の周辺に住んでおり、京都へ行くには利便性が高いと思いますが、草津市内の移動では、バスの乗り継ぎや運行本数など不便だと思うところがあり、自転車で移動することが多いと感じています。
委員	アンケートについて、行政が都市計画マスタープランの進捗状況を確認する目的で設問が設定されています。 安全・安心、バリアフリー、移動・交通渋滞の問題などがアンケートの設問に含まれているかという、まだ不十分だと思います。それは、行政のアウトプットと市民が感じているアウトカムにずれが生じているからだと思いますので、市民のニーズや不満などの意見を吸い上げるアンケート設計ができるかが重要ではないかと思います。
事務局	次回策定委員会において、アンケート調査票案についてのご意見・ご指摘をいただき、それを受けてアンケートを実施する予定です。
委員	現場サイドで困っている状況を、いかに上の計画に吸い上げることができるかが重要だと思いますので、うまく上と下でリンクできればよいと考えています。 また、10～30代の意見も計画検討の過程で重要ではないでしょうか。通勤・通学で帰りにご飯を食べて遊んで帰るといった日常生活において、「このまちのここは不便だ」などの意見をアンケートで十分把握できるのかということもあり、せっかく若い委員もいらっしゃるの、そういう目線で掘り下げて情報収集していただくと、より深み・厚みのある計画になるのではないのでしょうか。
委員	草津駅の西側に体育館ができましたし、今後さらにプールもできるということで、混雑緩和を考えていただきたい。
委員	アンケート対象は18歳以上の無作為抽出だと思いますが、地域で抱えている問題や考え方も異なると思います。高齢化が進んでいる地域もあり、年齢層によっても考え方が異なると思いますし、どのような方に配布されるのかお聞きしたい。
事務局	無作為抽出というのが原則論です。若い世代や地域別とすると母数が少なくなるという問題もありますが、地域別の分析結果を、地域別市民会議時に参考にしながら進めて行く方法も考えられます。白紙の状態自由に意見を言う方法や、課題を設定して、その内容について意見を聴く方法などもありますので、委員の皆様から意見をいただきながら、地域の入り方を検討したいと考えています。 立命館などの学生については、住民票登録をされていない方も多く、どこまで学生の意見を吸い上げられるかという課題がありますので、立命館大学等と調整して意見をいただける場を検討していきたいと思っています。
委員	滋賀県では大津湖南都市計画区域マスタープランの見直しを行っており、草津市の議論を参考としたいと思います。 全国的には人口減少ですので、拡大した市街地をどうコンパクトにしていくか、県・草津市では、その方向性をしっかり議論いただきたいと考えています。草津市は全国的にレアですが、人口が増加しているまちです。非常に難しい局面ではありますが、一方で高齢化は進みますので、先を見据えてコンパクトシティの議論をしていただきたいと思っています。 高齢化により、これまで頼ってきた自家用車が使えなくなります。過度に自家用車に頼らなくてもよいまちをつくるというメッセージを、本計画で打ち出すことが重要で

	<p>はないかと思っています。メッセージを出すことにより、市民だけでなく開発業者にもメッセージが届き、うまくまちづくりが進んでいくことを期待しています。</p> <p>実験と検証を繰り返し、小さくとも様々な施策に取り組むことが重要ですので、本計画に謳っていただければと期待しています。</p>
委員	<p>アンケートの「地域環境について」の設問に「居住環境が良いから」という選択肢がありますが、居住環境には色々な要素が混じっており、ここでの居住環境は何を指しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>居住環境にはそれぞれ個別の価値観がありますので、回答いただきやすいように、選択肢を再検討したいと思います。</p>
委員	<p>このようなアンケートをする場合は市民の意見を聞くということですが、観光バリアフリーなど、障害を持った方も含めて外部から来られる方に対する視点も必要ではないかと思えます。</p>
委員	<p>それぞれの委員の意見を全てまとめるのは難しいですが、キーワードはあげられています。</p> <p>多くの方から出たのは高齢化の問題です。人口はしばらく増加し、一定のレベルを維持しますが、高齢化率はどんどん上がりますので、質的には大きく変わります。全国でもレアケースですが、人口が増え、高齢化も進んでいく。ただ、市内でも、増えるところと減るところがある。</p> <p>それから、自家用車に大きく依存している中で、高齢化に伴う公共交通など移動手段の確保の問題がありました。</p> <p>また、バリアフリーやユニバーサルデザインなどの福祉についても、本計画で方向性を示すべきではないかということもありました。</p> <p>防災・防犯など、安全はどの分野にも関係してきます。安全性というのはまちづくりの基本ですので、漏れがないよう整理していただきたい。</p> <p>それから、アンケートについては十分に市民の意見が反映できるように取りまとめたいただければと思います。特定の属性については、意見を反映できるよう工夫をすることも考えられます。できるだけ少数の意見を切り捨てないように工夫していただければと思います。</p>
委員	<p>草津市健幸都市基本計画についても、資料としていただけないでしょうか。</p>
事務局	<p>委員の皆様方に配布させていただきます。</p>

8 閉会

松尾 副部長	<p>本日は、御多用の中、慎重なる御協議をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>委員の皆様いただきました御意見、御提言を踏まえ、都市計画マスタープランの策定を進めてまいりたいと思います。</p> <p>今後も、皆様それぞれのお立場から、御意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしく御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>
-----------	--